

大山地域

まちづくりと公共施設の 「これから」を考えるワークショップ

10月21日（日）に
開催しました第3回
ワークショップについて
お知らせします！

検討の進め方

富山市は、ワークショップをはじめ、広く地域の皆様からいただいた意見を反映させた、大山地域における公共施設の再編方針を定める「地域別実行計画」と、大山行政サービスセンターを核に、公共施設の再編を検討する「リーディングプロジェクト」を策定します。

第3回ワークショップでは、「公共施設の再編方針」と「リーディングプロジェクト」について話し合いました。



オープンハウス（パネル展示型説明会）のご案内

これまでのワークショップでの議論をふまえ、オープンハウスを開催します！

- オープンハウスとは、ワークショップでの議論などについてパネルで展示して、市の担当者が内容をご説明し、広く大山地域の皆様からご意見をいただくものです。

オープンハウスを開催
しますので、お気軽に
お立ち寄り下さい！
メールなどでのご意見
もお待ちしています。

日時	11月28日（水） 10時～16時	大庄公民館
場所	11月29日（木） 10時～16時	上滝公民館

ご意見募集

- ワークショップで検討されている内容について
- 大山地域のまちづくりや公共施設について

下記の「お問い合わせ先」まで、メール・ファックス・郵便などにより、どうぞお気軽にお寄せ下さい。
差し支えなければ、ご住所、お名前、年齢、性別、連絡先の記載をお願いします。

(c)TOYAMA CITY/DLE



お問い合わせ先

富山市企画管理部行政管理課
公共施設マネジメント推進班
電話：076-443-2021
ファックス：076-443-2170
E-mail：gyousei-01@city.toyama.lg.jp

公共施設マネジメントに関する情報

富山市の公共施設マネジメントに関する情報はHPでご紹介しています。
<http://www.city.toyama.toyama.jp/kikakukanribu/gyoseikanrika/sougoukanrikeikaku/>
sougoukanrikeikaku.html

リーディングプロジェクト（案）について

第3回ワークショップでは、第1・2回ワークショップで出された意見をもとに作成した3つの案について、追加すべきことや気になる点など、ご意見をいただきました。

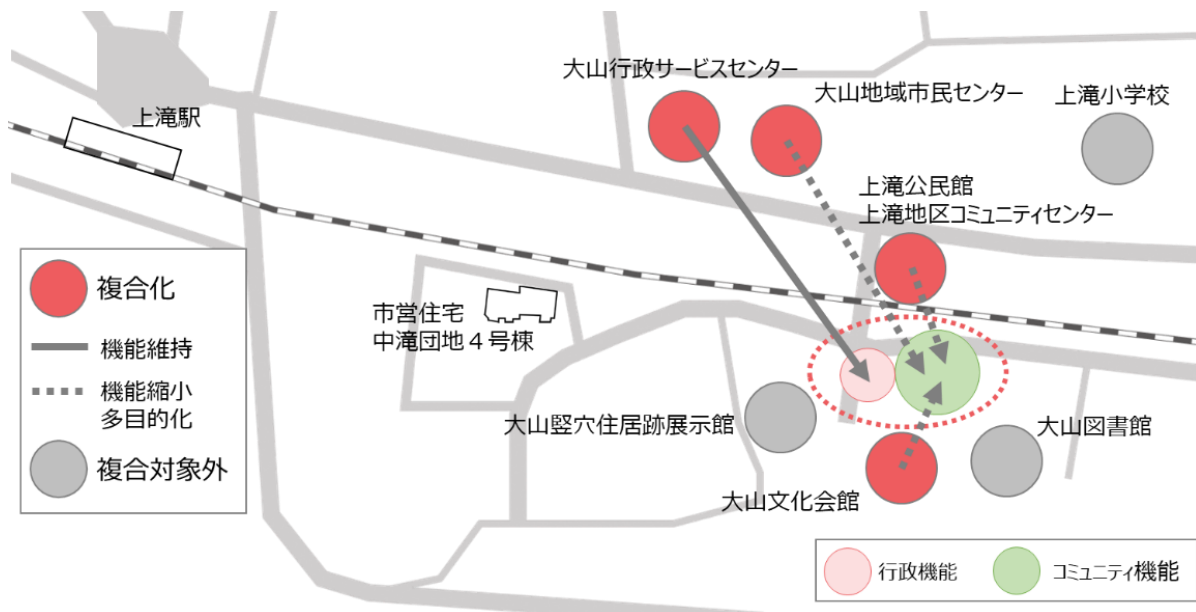
全案共通の主なご意見

- 200～300人規模のホールをつくること、行政サービスセンターの規模は縮小してもサービス内容は維持すること、利用しやすく十分な台数を確保した駐車場の整備が必要。
- 店舗や金融機関など商業機能を入れてほしい。利用者が増えることが期待できるし、地域の生活の利便性も向上する。マルシェなどができれば、地域外からも人が来ると思う。
- 過去の検討では、コミュニティセンターは独立させるとしたので、複合化は利用者のニーズと異なる。
- 図書館は手狭で、バリアフリーにもなっていないので、複合して新しくできるとよい。面積が小さくなくても、図書館機能だけを入れるのなら、十分なスペースが確保できるのではないか。
- 大山らしさを出すためにも、積極的に再生可能エネルギーの活用をすべきだと思う。
- 子育てしながら介護する人もいるので、子どもと高齢者関連の用事が、ワンストップでできる施設になるとよい。
- 大山文化会館側に作ると、線路を渡らなくてはならないので危険だし、県道に面していた方が利便性が高いことも考えると、行政サービスセンター側に作る方がよいと思う。

A

コミュニティ拠点づくり重視

- 行政機能とコミュニティ機能を複合化。
- 行政サービスセンターは、機能を維持するが規模は縮小。多目的スペースを含む集会施設を集約。



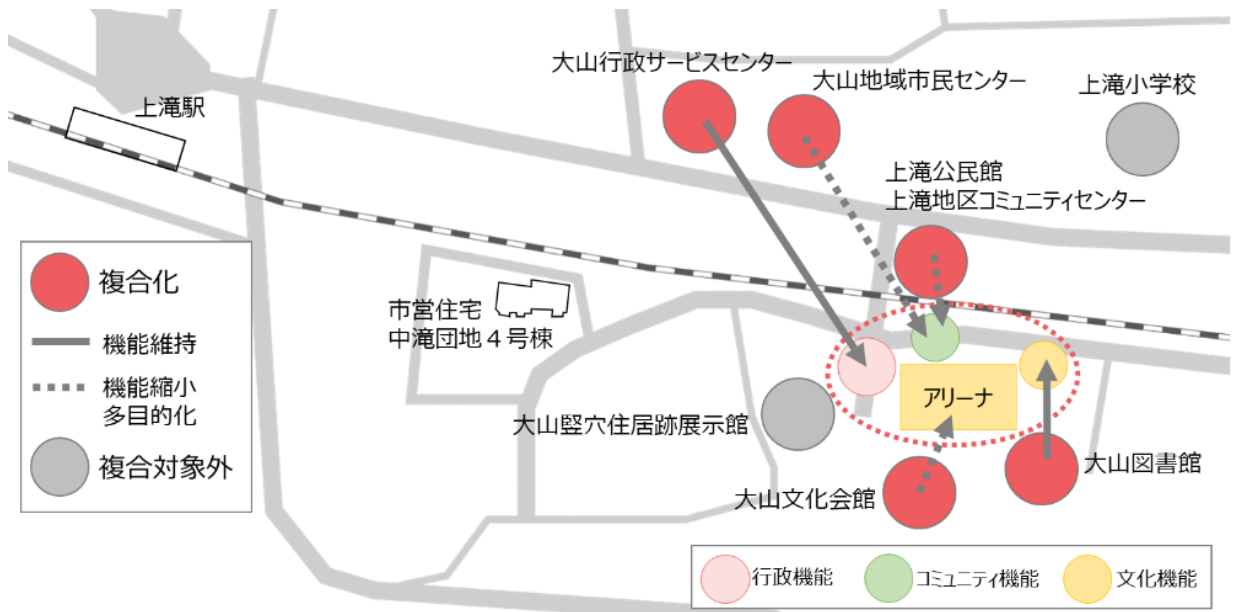
主なご意見

- 行政サービスセンター側に建てられないか検討し、難しい場合は、地下道を整備するなど安全面に配慮してほしい。
- 行政サービスセンター側にする場合は、図書館だけが孤立しないように、図書館も移転してほしい。その際、コミュニティセンターと図書館を複合した施設と残りの機能を複合した施設、2つの建物を作ってはどうか。

B

文化拠点づくり重視

- 行政機能、コミュニティ機能、文化機能を複合化。
- 行政サービスセンターと図書館は、機能を維持するが規模は縮小。集会施設は最低限確保。



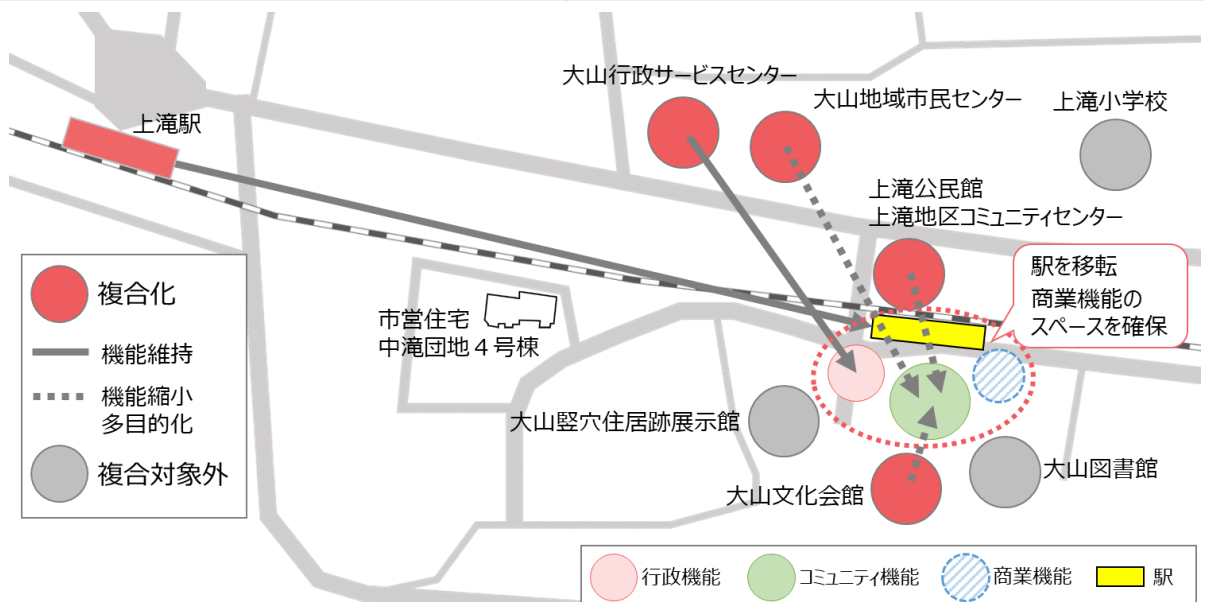
主な
意見

- 周辺に体育館が複数あるから、運動もできるアリーナは必要ないのではないか。多目的スペースがあれば、ホールとしては十分だと思う。
- おおやま佐々成政戦国時代祭りなどをアリーナで開催できれば、文化拠点の意味が強くなってよいと思う。
- 図書館の面積が小さくなってしまふ懸念があるので、複合せずにそのまま残すパターンもあってよいと思う。

C

まちの活力を向上させる

- 行政機能、コミュニティ機能、商業機能、駅を複合化。
- 行政サービスセンターは、機能を維持するが規模は縮小。集会施設やホールは、最低限確保。



主な
意見

- 駅を移転し、パークアンドライドできる駐車場も整備できれば、いろいろな用事がワンストップできて利便性が増し、駅舎も新しくなって使い勝手がよくなるだろう。
- 小さな子は電車に乗ることも娯楽なので、市の中心から上滝の子育て施設に来る人がいるかもしれない。車のない人が訪れやすくなるのもよい。
- 駅が移設されると、通勤、通学で利用している人で、不便になる人がいるのではないかと。鉄道会社との交渉も難しいだろうし、現実的とは思えない。人の流れが変わるので、駅周辺の商店から反対が出るのではないかと。

公共施設の再編方針（案）について

第3回ワークショップでは、第1・2回ワークショップで出された意見をもとに作成した公共施設の再編方針（案）について、追加すべきことや気になる点など、ご意見をいただきました。

(1) 拠点となる施設等（案）（抜粋）	主なご意見
①地域の公共施設再編の基本的考え方 <ul style="list-style-type: none">人口が集中している上滝地区・大庄地区に、集中的に配置し、利便性・機能性を高める。その他の地区は、必要な最低限の機能を残していく。	<ul style="list-style-type: none">上滝と大庄地区に施設を集約するのはやむを得ないが、他の地区が不便になったり、コミュニティが維持できなくならないように、最低限の機能を確保してほしい。最低限とは何か、住民の意見を聞いて判断してほしい。各地区の特色を生かした視点も入れられるとよい。中心部や南部地域なども含めて公共施設の再編を考える方が、無駄な施設が減り、利便性も損なわれないと思う。
②優先的に取り組むべき施策 <ul style="list-style-type: none">行政サービスセンター敷地、文化会館跡地のエリアで、老朽化した公共施設の建替りに合わせて複合化を行う。	<ul style="list-style-type: none">福沢の研究学園都市は、大山地域の貴重な資源なので、様々な学びの拠点や人材を育てる場をつくるというコンセプトはよい。複合施設に地元の木材を使ったり、リビングアートのまち大山をアピールできるとよい。

(2) 公共施設の再編方針（案）（抜粋）	主なご意見
①地域コミュニティの維持 <ul style="list-style-type: none">一定の人口に応じて、集会施設など、人の集まることのできる空間を地区ごとに確保する。学校の余裕教室や空き家の活用など、空間の形態は柔軟に考えていく。	<ul style="list-style-type: none">公共施設を、既存の地域コミュニティを維持していくため重要な場と位置づけるのだから、上滝や大庄地区以外の地区にとっても必要であることを理解してほしい。
②地域の活性化 <ul style="list-style-type: none">複合施設にイベントや商業活動のできる場を整備することにより、地域を盛り上げていくことを目指す。	<ul style="list-style-type: none">少年サッカーが盛んなことを生かし、スポーツのまちを積極的にアピールできるとよい。
③文化の振興 <ul style="list-style-type: none">文化コンテンツを伝承・発展する場として、地域の中心に複合施設を整備する。歴史民俗資料館、竪穴住居跡展示館は、展示内容や活動は維持しつつ、複合化や移設を検討する。	<ul style="list-style-type: none">施設の再編とともに、体験会やサロンなどを開催して、地域の伝統芸能を保存、継承していく仕組みも検討したい。歴史民俗資料館と竪穴住居跡展示館は、それだけを見に訪れる人が少ないので、人が多く集まる場所に移した方が、多くの人に知ってもらえてよいと思う。
④少子化対策 <ul style="list-style-type: none">子育て環境の充実を図る。子どもの数に応じて、施設を統廃合を進め、機能が集約された場でサービスを提供する。複合施設に子育て支援機能の導入を検討する。	<ul style="list-style-type: none">大山地域には豊かな自然環境があるのだから、屋外の遊び場との連携がとれるとよい。
⑤利便性の確保 <ul style="list-style-type: none">駐車場の確保、バスや鉄道などの公共交通機関によるアクセスを確保する。	<ul style="list-style-type: none">学校を統合する場合には、スクールバス等の方策を検討とあるが、現状で既に不便だ。市街地へのアクセスの利便性を向上させて、子育て世代の流入を増やすという視点もあってよいのではないかと。
⑥安全性の確保 <ul style="list-style-type: none">集会施設や学校、空き家、そのほかの公共施設のうち、安全なものを避難場所として指定する。	<ul style="list-style-type: none">避難所として空き家や集会施設を使う場合には、耐震対策など安全性の確保をしっかりとしてほしい。
⑦財源の確保 <ul style="list-style-type: none">利用ニーズが少なくなった施設の複合化、建替えの際の面積縮小を行う。	<ul style="list-style-type: none">水力発電は大山地域の特徴のひとつなので、再生可能エネルギーの利用をもっと強調してほしい。